



2023年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月12日

上場会社名 株式会社ノダ

上場取引所 東

コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 良知 正啓

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第1四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	17,652	4.7	1,630	19.0	1,679	22.8	1,036	22.6
2022年11月期第1四半期	18,529	20.3	2,013	110.9	2,176	124.2	1,338	115.9

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 1,439百万円 (20.5%) 2022年11月期第1四半期 1,811百万円 (96.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	64.54	
2022年11月期第1四半期	82.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第1四半期	75,555	41,516	48.7	2,292.14
2022年11月期	76,632	40,730	47.1	2,248.63

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 36,801百万円 2022年11月期 36,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期		30.00		30.00	60.00
2023年11月期					
2023年11月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,600	0.1	3,400	27.6	3,500	30.0	1,900	36.3	118.34
通期	78,600	3.0	6,300	35.7	6,400	38.1	3,600	40.6	224.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期1Q	17,339,200 株	2022年11月期	17,339,200 株
期末自己株式数	2023年11月期1Q	1,283,586 株	2022年11月期	1,283,586 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期1Q	16,055,614 株	2022年11月期1Q	16,285,145 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年12月1日～2023年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進みましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、資材価格・電力料の高騰、不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築コストの高騰や物価上昇により住宅取得マインドの低下が懸念されるなか、住宅需要は一部で弱含みの状態が続いており、持家や分譲戸建ての新設住宅着工戸数が前年同期比で減少いたしました。また、国内の木材需給が緩和するなか、合板についても荷動きの低迷が続いており、国内合板相場は期初から調整局面で推移いたしました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、固定費のコントロールや生産性の向上、原材料の見直しなど各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、全面リニューアルした内装建材の新シリーズ「カナエル」(1月先行発売、4月本格発売)の拡販に向けた提案活動に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、需要動向に即した適切な仕入・生産・販売に努めました。しかし、原材料や副資材、電力、物流など様々なコストアップによって利益が圧迫され、さらに、住宅の着工減や流通各社の在庫圧縮もあり販売量が伸び悩みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高17,652百万円(前年同期比4.7%減)、営業利益1,630百万円(前年同期比19.0%減)、経常利益1,679百万円(前年同期比22.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,036百万円(前年同期比22.6%減)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

住空間に対するニーズの多様化に応えるため、意匠性や機能性を高めた高付加価値製品の提案を強化するとともに、リフォーム・リノベーションや非住宅分野の需要獲得に向けて、各種防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサルディレクト」の拡販に注力し、シェアの確保に努めました。

また、これらの取り組みと並行して、“あなたらしさを新しくする”をコンセプトに、自分らしい暮らしをかなえるための提案を盛り込んだ新シリーズ「カナエル」の4月本格発売に向け、既存顧客への早期浸透や新規顧客の獲得のため、全国各地での展示会開催やWeb・SNSの活用など各種提案活動を徹底いたしました。

しかし、住宅需要が弱含みで推移するなか、建材・MDF製品全般の販売量が大幅に減少するとともに、原材料コスト等の高騰により採算性が著しく低下いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は10,391百万円(前年同期比4.5%減)、セグメント利益は128百万円(前年同期比83.4%減)となりました。

〔合板事業〕

国産針葉樹合板は、前第4四半期から国内出荷量の減少によりメーカー在庫が急激に増加したため、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を実施いたしました。当第1四半期においては、販売価格は前年同期比で大きく上昇しているものの、合板相場が調整局面で推移するなか販売量は回復せず、生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、昨年夏頃から国内需要の低迷と港頭在庫水準の高止まりが続いており、当第1四半期も引き続き販売量が低迷いたしました。また、先安感が強まるなか、前期の産地価格上昇と急激な円安で仕入コストは高騰しており、採算性の低下が続きました。

この結果、合板事業の売上高は7,261百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益は1,923百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)	セグメント利益(百万円)	前年同期比(%)
住宅建材事業	10,391	△4.5	58.9	128	△83.4
合板事業	7,261	△5.0	41.1	1,923	+16.3
調整額※	—	—	—	△421	—
合計	17,652	△4.7	100.0	1,630	△19.0

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は75,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,076百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少1,215百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,390百万円、製品の増加1,695百万円、仕掛品の増加155百万円、機械装置など有形固定資産の増加522百万円、投資有価証券の増加158百万円などによるものです。

負債は34,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,861百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少700百万円、短期借入金の増加636百万円、未払金の減少632百万円、未払法人税等の減少2,240百万円、長期借入金の増加1,728百万円などによるものです。

純資産は41,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ785百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加1,036百万円及び配当による利益剰余金の減少481百万円、その他有価証券評価差額金の増加119百万円、非支配株主持分の増加87百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅需要が弱含みで推移するなか、原材料コスト等の高騰や不透明な合板相場が続く厳しい事業環境において、当社グループは、原材料の見直しや固定費の抑制などコストダウンの徹底を図るとともに、企業努力で吸収しきれないコストアップ分については必要に応じて販売価格の改定を行いながら、新シリーズ「カナエル」を武器に収益の確保に努めてまいります。

なお、本年1月17日に公表いたしました2023年11月期の連結業績予想に変更はございません。今後、修正が必要になった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,869,756	20,654,301
受取手形、売掛金及び契約資産	15,496,313	13,105,976
製品	8,126,313	9,822,105
仕掛品	1,250,192	1,405,387
原材料及び貯蔵品	4,032,173	3,899,154
その他	619,779	945,347
流動資産合計	51,394,529	49,832,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,991,150	3,023,057
機械装置及び運搬具(純額)	3,974,815	4,677,768
工具、器具及び備品(純額)	341,741	371,491
土地	6,154,017	6,169,925
立木	126,295	124,178
リース資産(純額)	257,381	246,757
建設仮勘定	933,701	688,449
有形固定資産合計	14,779,103	15,301,627
無形固定資産	759,730	695,063
投資その他の資産		
投資有価証券	7,254,797	7,412,909
繰延税金資産	1,681,448	1,555,122
その他	764,525	760,978
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	9,698,772	9,727,009
固定資産合計	25,237,605	25,723,701
資産合計	76,632,135	75,555,975

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,201,515	13,500,913
短期借入金	6,255,696	6,891,864
1年内償還予定の社債	21,560	21,560
未払金	2,271,733	1,639,569
賞与引当金	-	505,725
未払法人税等	2,585,829	345,207
設備関係支払手形	559,347	887,418
その他	2,484,316	1,049,281
流動負債合計	28,379,999	24,841,540
固定負債		
長期借入金	792,770	2,521,380
リース債務	581,224	522,250
環境対策引当金	17,128	17,128
長期末払金	140,980	140,980
退職給付に係る負債	5,978,668	5,985,657
その他	10,750	10,750
固定負債合計	7,521,521	9,198,146
負債合計	35,901,520	34,039,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	32,200,048	32,754,600
自己株式	△706,189	△706,189
株主資本合計	35,222,681	35,777,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,105,362	1,225,064
繰延ヘッジ損益	△28,894	△2,229
為替換算調整勘定	138,826	119,903
退職給付に係る調整累計額	△334,846	△318,279
その他の包括利益累計額合計	880,447	1,024,458
非支配株主持分	4,627,486	4,714,596
純資産合計	40,730,615	41,516,288
負債純資産合計	76,632,135	75,555,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)
売上高	18,529,812	17,652,287
売上原価	13,366,443	12,829,441
売上総利益	5,163,369	4,822,845
販売費及び一般管理費	3,150,238	3,191,969
営業利益	2,013,130	1,630,875
営業外収益		
受取利息	592	630
受取配当金	9,572	9,735
持分法による投資利益	132,084	42,983
為替差益	17,885	3,225
その他	28,686	29,602
営業外収益合計	188,821	86,177
営業外費用		
支払利息	14,682	17,080
売上債権売却損	5,337	7,009
訴訟関連費用	3,700	-
その他	1,905	13,889
営業外費用合計	25,624	37,979
経常利益	2,176,327	1,679,074
特別利益		
補助金収入	-	252,480
特別利益合計	-	252,480
特別損失		
固定資産除却損	28,236	6,753
固定資産圧縮損	-	252,480
特別損失合計	28,236	259,233
税金等調整前四半期純利益	2,148,090	1,672,321
法人税、住民税及び事業税	386,774	311,617
法人税等調整額	214,917	62,689
法人税等合計	601,691	374,307
四半期純利益	1,546,399	1,298,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	207,705	261,792
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,338,693	1,036,220

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)
四半期純利益	1,546,399	1,298,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169,747	123,733
繰延ヘッジ損益	4,497	26,665
為替換算調整勘定	△475	7,933
退職給付に係る調整額	17,575	16,567
持分法適用会社に対する持分相当額	73,794	△33,571
その他の包括利益合計	265,138	141,328
四半期包括利益	1,811,538	1,439,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,586,844	1,180,231
非支配株主に係る四半期包括利益	224,693	259,110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。